

日本の木これからはどうなる？！

日本の木の歴史

現代と昔の山の違い。
現代の日本の山は、木も多く、自然豊かだ。昔は、第二次戦争があったため大量に木材が必要となり、全国各地がはげ山になった。昔から現代にするまでには、戦後何も無くなった町は、復興するために木材が沢山必要になったため政府は、伐採した土地に植林を進めた。その頃は、需要が多かったので値段が急激に上がった。ので植林がブームになった。



木は、火に強い！

木の魅力は、CO2が出た場合吸ってくれたり、酸素排出もしてくれる。そして、木材資源もできるので家や建物を建てることができる。森林セラピーがあるので人間の気持ちを穏やかにさせる。木の特徴は、火に強い！鉄や金属などよりも木は火に燃えない。木を使えば使うほど味が出るし、長持ちもします。

木は、身の回りにも！

日本の木は、よく建築用材家具、木箱や工芸品、お箸などにも使われています。そして、木材には、感触の良さ温もり、安全性などがあり室内で使うと快適性を高める効果があります。私達の使っている机も木でできていて、横の部分は、大根のかつらむきのように切って何枚も貼り重ねて作ってあります。



日本の林業がかかえる問題



最近では、自給率よりも外国材の方がえています。5年以降自給率が

外国材より増えることはありません。昭和50年から平成までに自給率が少し下がりました。ですが、平成27年には、自給率が上がりました。令和2年には、外国材も減ってきています。理由は、木材の値段が急激に上がり、ウッドショックだからです。

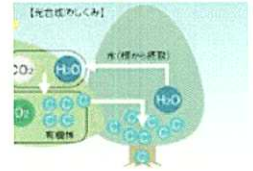
日本の森林の未来

木は、守るべきだと思います。理由は、木を使ってしまうと、CO2を吸ってくれたり酸素を排出してくれないからです。そして、全然使わないのでは無く使える木は使ってまた植林をすればいいと思います。なので、私は守った方がいいと思います。

いろいろなことに使える木の魅力

木のいい魅力

木の精油成分には、カビの発生や病原菌の繁殖をおさえる効果があります。また、木の床では、ぜんそくなどの病気やアトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患の原因になるダニが発生しにくいことが明らかになっています。そのため木造の家では、衛生的に暮らすことができるのです。木の香りには、気持ちを落ち着かせ、リラックスさせてくれる働きがあります。これは、木の香りに含まれる精油成分によるものです。家の中でも木の香りを感ずることができ、心身ともにリフレッシュすることができま。



木は燃えるという性質があります。しかし、太い木材は火がついても燃えた部分が炭となることで木の内部に熱が伝わりにくくなり、すぐに燃え尽きることはありません。一方、鉄などの金属は一定の温度を超えると急に強さを失って変形します。そのため火災の状況によっては、木造の建物の方が鉄骨の建物よりも崩壊の危険性が少ないのです。

木の自給率の問題点

日本の木材自給率がどんどん低くなっています。例えばその国に戦争などが起こってしまったら輸入が入らなくなってしまうので、戦争が長引いてしまったりまたハゲ山になってしまう確率が高いと思う。それに、林業で働く人が減ってきて、これからは機械と共に林業をやっていくかもしないからこのことが私たちの課題！

魅力

木は何にも使えます。もう売れなくなった木は捨てずに削れば匂いがとてもいい匂いになり、削って自分好みの形にして部屋に飾って置いて何にでも木は使えます。理想の木とは飾っていても心が癒されて綺麗な木。みんながきを使ってくれる（木を好きになってくれる）

木は燃えるという性質があります。しかし、太い木材は火がついても燃えた部分が炭となることで木の内部に熱が伝わりにくくなり、すぐに燃え尽きることはありません。一方、鉄などの金属は一定の温度を超えると急に強さを失って変形します。そのため火災の状況によっては、木造の建物の方が鉄骨の建物よりも崩壊の危険性が少ないのです。



これからの日本の未来は？

私は木を守るべきだとおもいます。なぜなら、木を使いすぎてなくなってしまうと、自然の動物たちの住処がなくなってしまうし、CO2を吸えないから日本の空気がどんどんわるくなってしまいうからです。

木の未来を守るためには…

日本の森林の歴史と現状

戦争の時に戦車、飛行機、武器などのように木材が使われた。(そしてハゲ山が増えた)戦後、植林が始まる。

また、昔植林を沢山取り組んだのに今は手入れが足りていない山があるから木が余っている。(林業をやる人が少ない)



木の魅力

先生のスプーンのように木のものを使うとどんどん味(木の色など)が出てくる。

また、木は耐久性があり火にも強いので家や建物にもいい!



日本の林業が抱える問題

違法伐採による森林破壊
違法伐採は世界各地で起きていて、その中でも多いのが東南アジア、ロシア、アフリカ、ブラジルです。また、1時間でサッカー場150個分もの森林が消失しています。

でも、私たちが使用しているものはほぼ違法伐採のものではないと
松野商さんはいっています。また、法律によって違法木材ではないか
見るところがあるので安心して使用することができます。

地球温暖化による木への影響

地球温暖化による気象災害の増加や農作物への影響などの自然及び人間に対する悪質な影響は健康、生計、食料安全保障、水供給などの
ことがリスクを増している。



Caebe Kyoto 銀閣寺

日本の木の未来

私は、木を守るべきだと思います。なぜなら、松野商さんは「全くその通り!」とおっしゃっていたし、政府もと動いてほしいなと思いました。

また、働く人が減ると森林の手入れをする人が足りなくなり、森が荒れてしまいます。なので、木の魅力がすごい!と興味をもって外国の人を林業に入れたらいいんじゃないかな?と思いました。

松野商さんの魅力

余った木は全部捨てない!

余った木は倉庫に保管しておく、お箸などにする、と工夫をしています。

・理想の木は…

理想はみんなが木を好きになってくれること。理想の木は、匂いもいい手触りもいいヒノキだそうです。



朝日新聞 GINSEI



木は良いところが沢山ある？

日本に木の建物

法隆寺

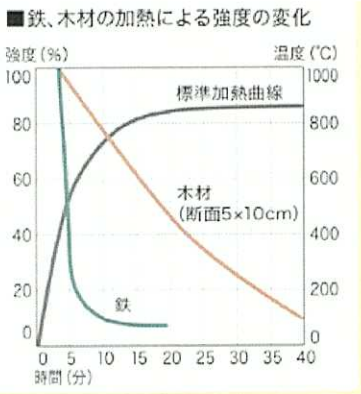
世界最古の木造建築物の法隆寺は、ひのき建てられています。1300年以上たった今も残っています。



ヒノキの耐久性を長い歴史が証明しています。鉄やコンクリートにはこれほどの耐久性はなく、せいぜい100年程度と言われています。全国各地の寺院の修理・改築を行っています。宮大工さんは「1300年経ってもヒノキを削ればよい香りがするし、使うこともできる。」といいます。木は伐られたときに第一の生命を経つことになりませんが、建物に使われたときから、第二の生命が宿り、何百年もの長い歳月を生き続ける力を持っているらしいです。

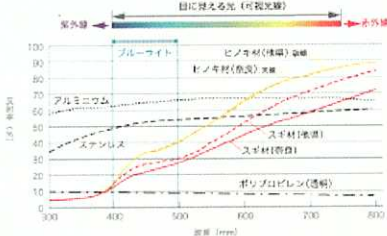
木の魅力

木は火に強い
鉄は約10分しかたもつことはできないけど、木は30分以上も保つことができる。



紫外線を吸収

木材は、太陽光の中の有害な光線である紫外線を吸収するので、木材から反射した光には紫外線がほとんど含まれていません。木に囲まれた空間で光がやさしく感じられるのは、木材が光をやわらげる働きがあるらしいです。



日本の森林の未来

私は使うと守るとどっちもだと思っています。日本は樹齢の木が沢山あるのにあまり使われていません。しかし、輸入えおすると時々組織やゲリラなどに資金になってしまうから使った方がいいと思います。使ったらいいと思うけど、切ったり運んだりするのに沢山のお金があるのでどうやってつかえばいいかわかりません。

つかうと木が値上がりする。でも、守るべきだどうやって守るか、どうやって人数がふやすかわからないけど山がハゲ山にならない。テロ組織やゲリラなどの資金にならないと思います。だから、私は使うと守るとどっちもだと思っています。

日本の林業が抱える問題

- 働く人が減少
- 昭和は55年は17万、9万人でしたが令和2年は4.4万人になりました。
- 外国からの輸入が値上がり
- 今、ロシアと戦争しているため物がなくなり、木がすごい値上がりしたそうです。



いろいろなすがたに変身する木！

縄文時代にかかせない木！

縄文人にとって木はかかせないものでした。木がなければ弓や先がとがった棒も作れません。その、弓や棒がなければ動物の肉も食べられません。毎日毎日がドングリの生活になっています。だから、木はかかせないものです。



森林の働き

CO2をすってくれたり、動物のすみかにもなります。また、洪水などからも町を守ってくれます。

様々な製材と使われ方

建築物や資源利用、家具など人の役に立つものに使われています。また、このようなものは林業さんがふしが大きいものを選んでつくられています。



杉とひのき

杉は赤黒くて葉っぱの先には花粉がついています。ひのきは白くていい匂いです。また、色もきれいです。

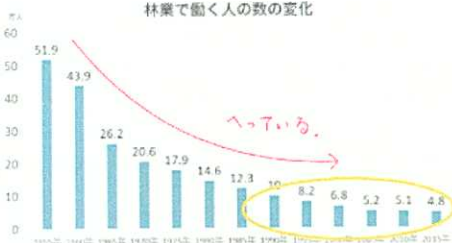
木は守るべき、使うべき！

私は守るべき、使うべきだと思います。守るべき理由は、木はCO2を吸ってくれるし、動物のすみかにもなるからです。また、今は100円のもののが300円、400円にもなっています。物はないのにお金だけが上がるとどんどんお金がなくなってしまうだけだと思います。そして、もしこれから戦争がおこってしまったら、木材がぐやおうちをつくることのできるのを守るべきだと思います。そして、使うべきだと思う理由は使える木はたくさんあるし、使われていないと土砂災害がおこってしまうかもしれない。また、木を使うと鉄を使わずに物をつくれます。

林業で働く人の減少…

林業で働く人は、日本の労働者のうちわずか0.9%しかいません。林業では雨の時は休みになる会社もあるため、梅雨のときなどは生活がきびしくなるといわれています。死亡やけがなどの労働災害は減少しています。すがその発生率は他の仕事の約10倍です。グラフを見てみると1955年から5年にかけてだいたい減ってきているということが分かりました。また、コロナなどで自宅たいきになる人もいて大変だったということもわかりました。

林業で働く人の数の変化



森林に魅力を味わうために調べる

日本の危機山がハゲしまった
昔は、森林がたくさんあったけど木をたくさん切ってしまった。またりして、木が減ってしまった。さらに、戦争が起こったことで、武器や家を作るために木がたくさん必要になった。そのため、人工林を植える数が増えて今のようになっている。



ピタツとはまる法隆寺
例えば法隆寺を例に考えてみる。このお寺は日本の伝統的な技術をもとに作られている。昔は、戦争があつて一度、法隆寺が分解された。そのため、各地の図書館に法隆寺を組み立てる本があつた。そして、組み立て直してから、崩れていない。

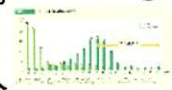


木はやさしい
木は自然にやさしい動物の住処になるし、洪水が起こった時に木が大きくてがっちりしてるため土砂災害から防いでくれる。木が人にやさしいのはやわらかいし温かいからだ。他にもきは、火に強く、長持ちをするため守られる。



木の使い方
細い木は、おとしたら折れて使えないから木と木の間に入れてなにかに使う。そしたら少し頑丈になる。ガタガタの形の木は使いにくい。たぬ何枚も重ねて頑丈にする。机もそういうふうにつくられている。横のすじは木が重なっているときのもよう。表面の木のすじのようなのはプリントされたものか何か。売れなかった木は最後までむだにならないようにうる。でも、売れなかったら何かに使う

未来はどうなる？
今は、人工林を植えている数が減っている。そのため未来は、人工林が減っていつてなくなっていくため、輸入に頼ってしまつた、いまは林業で働く人が減少しているため、木を植えたり切ることができなくなるかもしれない。こういうことをみんなが今考えるべきだ



木は守るべき
木は未来減っていつてなくなつてしまふかもしれない。そのため、輸入に頼りすぎてお金がなくなる可能性がある。森林には動物などが住んでいて。でも木がなくなると住処がなくなつてしまふから動物たちが絶滅してしまふかもしれない。だから林業で働く人を増やして木がなくならないように、木をできるだけ使うのを少なくしたり、新しく植えるようにする。

木のたくさんの魅力を残すため、木は守るべき！

戦争のハゲ山を乗り越えて…

日本人は、縄文時代(3000年以上前)から、木の性格も分かって使っていました。明治時代は、これまでの中で一番、森林が荒れ果てたと言われています。戦争中、武器などで、たくさんの木を使ってしまったため、戦後、全国各地の山がはげたようになってしまい、そこから植林が始まりました。植林された木を「人工林」と言い、今は天然林の方が、森林全体の約5割を占めています。当時は植林ブームとなりました。

温かい色味と木の耐久性

木は、柔らかい印象を与える色だと言われています。また、木は火に強く、耐久性があります。そのため、最近では木を使った家やものが増えてきています。



慈照寺



法隆寺

「法隆寺」も木で作られている

世界最古の寺、法隆寺も、とてもレベルの高い保存性と耐久性を誇る桧(ヒノキ)を使っています。桧は、木の色が白い、白い色をしています。桧を使って、1300年以上も保存されています。木は長持ちするので、たくさんの建物を支えているのです。



大阪府の治山の歴史より

桧の色が違う！桧は、白い色をしている

林業従事者が減り、

違法伐採がさかんに…

日本では、林業従事者が減りつつあります。林業従事者は、森のお手入れ、植林、木を切る、加工する、販売するなどの、気に関わるたくさんのお仕事をしてきています。なので、林業従事者が減ると、森林破壊がどんどん進んでしまいます。また、違法伐採が進んでしまっています。森林の木を勝手に切って販売するということは、よくないことです。もっと政策を取るべきだと思います。また、私たちが違法伐採された木を買わないようにすることも大切だと思います。

木は守るべき！

私は、木を守った方がよいと思いました。理由は、主に2つあります。1つ目は、林業従事者の数が減りつつあるからです。1980年には、約5万人いましたが、今では、約1万人になっています。また、このまま林業従事者が減ると、森が荒れ果ててしまったら、育てる人がいなくなってしまうと、違法伐採が進むかもしれません。でも、違法伐採は、あまりされていないので、進むことはないと考えられます。

2つ目は、ウッドショックが進んでいるからです。新型コロナウイルス感染拡大や、ロシアとウクライナの戦争によって、木が足りなくなってきました。このままウッドショックが続くと、木が少なくなってしまうので、木を慎重に使った方がよいと思います。また、木がなくなりすぎると、水を吸ってくれなくなり、昔のように、大洪水が起きってしまうかもしれないので、守った方がよいと思います。